

4 それぞれの約数と公約数を全部書きましょう。また、最大公約数も求めましょう。

① (13, 39) ☺ 1とその数自身も約数だよ。

13の約数

1, 13

39の約数

1, 3, 13, 39

公約数

1, 13

最大公約数

13

② (16, 48)

16の約数

1, 2, 4, 8, 16

48の約数

1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 16, 24, 48

公約数

1, 2, 4, 8, 16

最大公約数

16

5 たて 18cm, 横 24cm の長方形の中に、縦も横もすきまがないように、同じ大きさの正方形をならべます。

(1) 縦 18cm にならべることができるのは、1 辺の長さが何 cm の正方形ですか。全部書きましょう。

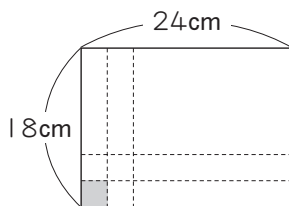
☺ 18cm をわり切ることができる整数(約数)を考えよう。

1cm, 2cm, 3cm, 6cm, 9cm, 18cm

(2) 横 24cm にならべることができるのは、1 辺の長さが何 cm の正方形ですか。全部書きましょう。

☺ 24cm をわり切ることができる整数(約数)を考えよう。

1cm, 2cm, 3cm, 4cm, 6cm, 8cm, 12cm, 24cm



★ できたらずこい! 縦だけ考えているから、24cm も入ります。
 (3) 縦も横もすきまなくならべられるいちばん大きい正方形は、1 辺の長さが何 cm ですか。また、そのときの正方形は、全部で何枚必要ですか。

考え方 いちばん大きい正方形は、18cm と 24cm の最大公約数になるので、

1 辺の長さは 6cm。

そのときの正方形の枚数は、

縦 $18 \div 6 = 3$

横 $24 \div 6 = 4$

全部で $3 \times 4 = 12$

答え 6 cm で 12 枚



ひとやすみ じっしんほう ~十進法~10が1つの単位~

大昔の人は、「1」を手の指1本や、小石1個で数えたりしました。少ない数のときは、手の指でたりますが、もし、「12」だとどうでしょう。数えられませんね。

そこで、「12」を「10」と「2」にわけて数えることを考えました。

1 が 10 個で「十の位」、10 が 10 個で「百の位」、100 が 10 個で「千の位」としました。この数え方を、十進法といいます。